

私の工夫

心と体を動かし、友達と一緒に進んで遊びに取り組み、幼児を目指して心弾む環境構成と教師の援助の工夫

総社市立神在幼稚園
教諭 渡邊 里美



1 はじめに

幼児は、思い切り体を動かして遊んだり、人とつながりながら遊んだりする中で、さまざまな感情体験を積み重ねていく。その体験を通して、社会性や非認知的能力の発達が促され、一人一人の資質や能力が育まれる。

昨年度まで勤務していた総社市立池田幼稚園の幼児は素直で元気がよく、異年齢児でかわりながら好きな遊びを楽しむことができる。しかし、園での遊びは固定化しがちで、少人数のため同年齢児と一緒に競い合ったり、ルールを話し合ったりする機会は少ない。そこで、幼児が心や体を弾ませ、友達とかわりながら遊びに取り組みためには、どのような教

師の援助や環境構成が必要かを探りたいと考え、主題を設定した。

2 研究の内容

(1) 目指す幼児像

目指す幼児像を「進んで体を動かして遊ぼうとする幼児」「友達と一緒に遊ぶことの喜びや充実感を味わう幼児」とし、目指す幼児像へのプロセスを明らかにして実践を行った(図)。その際、幼児自ら「やってみたい」と心を動かし、自然と体を動かしたくなるような遊具や集団遊びの工夫を行った。また、友達と認め合ったり、刺激し合ったりするための環境や教師の援助のあり方はどうあればよいかを探った。

(2) 実践にあたって工夫したことと成果

① やってみたくなる遊具づくり
地域の方の力を借りて、自然木の枝を生かした木登り遊具や跳び木、ターザンロープを製作した。

木の上には宝箱をつり下げたり、ターザンロープにビニールテープで目標となる目印を付けた。すると、幼児はすぐに興味を持ち、進んでさまざまな遊具にかかわった。体を動かして遊ぶことが苦手な幼児も目当てを決め、あきらめずに繰り返し挑戦することが



木登りやターザンロープに自分からかかわって遊ぶ幼児

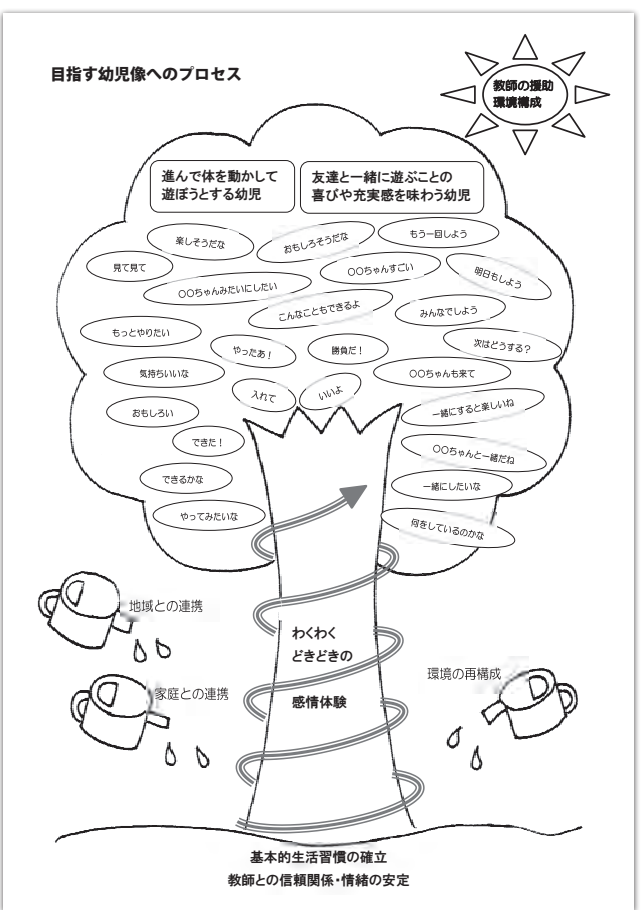


図 目指す幼児像へのプロセス

できた。

また、活動の振り返りの時間には、教師がねらいの視点から撮影したその日の保育の様子をテレビで見せ、友達の姿に気付けるようにした。すると、友達の頑張りを知り認めたり、翌日の遊びの目当てを明確にしたりしながら、さらにやる気をもってかかわることができた。



映像を見て活動の様子を振り返りながら話し合いをする幼児

②他園との交流の持ち方の工夫

交流園の職員と事前に打ち合わせを行い、両園の幼児が日ごろから遊んでいるしつぽ取りを交流時

に継続して行うことにした。

本園の幼児は、最初はしつぽ取りをする交流園の幼児の様子を遠目に見ているだけだったが、しばらくすると教師と一緒に参加することができた。また、継続してしつぽ取りを行ったことで、大勢で遊ぶ面白さに気付き、自分からしつぽを付けて遊びに加わったり、同じチームの友達と作戦を考えたりしながら、意欲的に遊ぶ姿が見られた。

③集団遊びの工夫

少人数でも、競い合ったりルールを考えたりすることができるよう、宝取りゲームを行った。日ごろから宝島を目指して活動していた幼児は、すぐに興味を持ち、ボールやロープ、旗等を宝物に見立て、チームに分かれて遊ぶ姿が見られた。

最初は各々に宝物を取りに行くだけで満足し、競い合う姿は見られなかった。そこで教師は幼児と同じタイミングで宝物を取り、引っ張り合うようにした。すると幼児は仲間の幼児に助けを求め、宝物を取ろうと協力するようになった。

また、繰り返し取り組む中で勝つための作戦を考えたり、困ったことを話し合い、ルールを見直したりする姿も見られた。遊びの面白さを感じるようになると、宝物のアイテムを考え、自分たちで準備をしたり、3歳児を仲間に迎え入れチームの分け方を考えたりしながら、継続して遊ぶことができた。



同じチームの友達と協力して宝物を取ろうとする幼児

3 まとめと今後の課題

○宝箱やビニールテープで目標となるものを明確にしたり、写真

を用いた振り返りで友達の姿に気付けるようにしたりしたこと、全園児が目当てを持ち、繰り返し遊具にかかわることができた。今後も幼児にとって魅力ある環境になるように、幼児の実態に応じて環境の再構成をしていきたい。

○交流園の幼児と一緒に、幼児が日ごろから取り組んでいる遊びを継続して行うことは、大勢の友達と遊ぶ楽しさを感じながら、意欲的に活動するために有効であった。今後も交流園で経験させたい活動を職員間で話し合いながら、年間を通して計画的な交流を行っていきたい。

○幼児に興味があることを遊びに取り入れたり、さまざまな遊び方に気付けるようにしたりすることは、遊びのイメージを膨らませ自分たちで必要なものを準備したり、仲間と協力したりするために有効であった。今後も幼児の興味や関心を探り、発達に必要な経験を無理なく取り入れることができるように遊びを工夫していきたい。